

地域農業部門賞

大阪府 水土里ネット枚方市穂谷

遊休地でのコスモス栽培や野菜のブランド化で ふれあいイベントに1万5000人が来場

位置図



地区内のほぼ全戸から ボランティアでイベントに参加

水土里ネット枚方市穂谷がある穂谷地区は、大阪府東部の中山間地域にあり、「日本の里100選」にも選ばれた自然豊かな場所です。絶滅危惧種も多く生息し、平成17年には環境省が生態系観測地点として指定する「モニタリングサイト1000」のうち、とくに重要な「コアサイト」に全国の農地で初めて選ばれました。そのため地域住民は「自分たちの手で地域の自然や環境を守る」という意識が強く、水土里ネットの組合員を中心に、地域住民が積極的に水路や農道、ため池の維持管理に取り組んでいます。



黒豆枝豆収穫体験

一方で、この地区は風水害を受けやすく、災害復旧工事や農地の維持管理にかかる費用がかさみ、資金面で苦しい状況が続いています。そこで地域の農業を守り、新しい担い手を育成していくと、21世紀創造運動に



さつま芋の収穫体験

よる様々な取り組みを行ってきました。農業を次世代へつなぐには、収益性の高い農業への移行が急務です。そこで水土里ネットと枚方市穂谷区が協賛し、穂谷農業振興協議会を設立。農作物のブランド化や外部との交流事業を積極的に行ってきました。

その象徴的な取り組みが、平成9年から毎年10月に開催しているふれあいイベント「枚方の里山・収穫の秋穂谷」の開催です。

このイベントの母体は穂谷農業振興協議会ですが、当日のスタッフは地元住民のボランティア。この地区は全80戸ですが、平成28年度のボランティアは134名にのぼります。このほか、行政や近隣大学の学生をはじめとした関係団体からの協力も合わせ、303名のスタッフで運営しました。

コスモスや黒豆枝豆が 地域のブランド化を推進

イベントの内容は、コスモスやひまわりの摘み取



有休農地を借り上げてひまわりを栽培

スの栽培は遊休農地を借り上げ、今ではコスモスの栽培面積が3万平方メートルまで拡大しました。

これらの農作物や花々を目当てに来場者は年々増え、平成28年度の来場者は、地元主催のふれあいイベントとしては府内最大級の1万5000人を達成。「コスモスの里穂谷」として、知名度も向上中です。

イベントを通じて穂谷産の農産物の魅力が多くの人に伝わり、地元で通年開催されている「ふれあい朝市」にも地区内外から大勢が買い物に訪れ、「穂谷ブランド」は確実に広まっています。これらの活動が都市近郊の里山地域における振興モデルとなるよう、今後も努力を続けていきます。



コスモスの栽培面積は3万㎡に及ぶ

水土里ネット概要

水土里ネット名	水土里ネット枚方市穂谷
役員数	8名
職員数	—
組合員数	103名
受益面積	26.54ha

*平成29年4月現在